

今回お話を伺ったのは &gt;&gt;&gt;

# 【株式会社ルネサステクノロジ】

知的財産権統括部  
渉外部  
矢部 正樹 様

企業ユーザーインタビュー第4弾目は半導体業界で世界トップシェアを持つルネサステクノロジ。知的財産権統括部 渉外部の矢部様よりお話をいただきました。

## 日ごろ、どのような業務をしていらっしゃいますか

「特許のライセンス業務と、特許侵害訴訟関連業務が渉外部の業務の二本柱です。訴訟業務については法務部と連携しながら、特許とライセンス契約に関連する部分を渉外部が担当しています。」

## それではリーガルリサーチについて伺います。日々どのような情報を、どのような方法で収集していますか？

「業務上、米国の訴訟情報を多く必要とします。特定の判例を入手するのは当然ですが、判例のその後の有効性、下級審の追従状況もトラッキングしています。レクシスのメールアラートで定期的にチェックしています。シェパーズ・アラート(判例有効性のメールアラート)は重宝しています。特許の世界では、米国がデファクトスタンダードとなっていますので、米国の法制・判例・提訴情報等は避けて通れません。新聞、書籍、無料のソース等でも調べられる情報もありますが、海外ソースへのアクセス、アップデートの速さ、情報が蓄積されているという点で情報商用サイトにメリットを感じます。リーガル情報だけでなくニュース、ビジネス情報全般も収集しています。」

## ニュース系、ビジネス系の情報ソースの必要性和利用方法について教えていただけますか？

「直近のものは、まずは新聞やニュースサイトで検索しますが、古いもの、例えば5年、10年前の情報になるとレクシスを利用します。特に米国やその他海外の情報欲しい時レクシスが便利です。フリーサイトではまず過去の記事検索はできません。交渉業務を行っておりますので企業・業界動向の情報ニーズは非常に高いです。また、M&Aも多い業界ですからディールレポート等も確認します。その他、米国で著名なIP関連ブログのチェックもしています。WEBからの情報収集では信頼性が問題になるので、情報ソースの複線化とダブルチェック(オリジナルソースの確認他)に気をつけなくてはなりません。フリーサイトの情報は自分自身のバックグラウンド情報としてチェックしています。」

## 第一線で活躍されているだけに、情報も多方面から収集されていますね。リーガルリサーチについて勉強をされたご経験はございますか？

「米国ロースクール留学中にLegal Researchの授業で学習しました。説明と実習の組み合わせられた授業で、グループで特定の課題をリサーチし、最後にプレゼンテーションを行うという授業でした。無料リーガルポータルサイト、商用サイト、書籍等の用途別活用法を学びました。実務でも役にたっております。」

「先ほどレクシスの操作方法を拝見させていただきました所、大変スムーズで驚いたのですが、留学中もお使いいただいていたのですね。ありがとうございます。」

## 論文(law review)、実務解説書、各法関連機関・団体、法律出版者が出している出版物や情報をLexis.comは多数収録しています。日本の知財部に必要またはお薦めの情報はなんでしょう？

「主要なLaw SchoolのLaw Reviewですね。目次だけざっと目を通して、必要な所を読み込んでいます。また特にLaw Reviewに絞らずに法律文献をまとめて検索することも多いです。類似した用語の明確な峻別ができないときによく利用するのは"American Jurisprudences"(法律百科事典)です。もちろんlexisから検索します。またCLE資料は簡潔で箇条書き形式に書かれているものが多いのでリサーチの初期段階で利用することでポイントを短時間で把握できます。私が米国弁護士事務所研修中に作成したのもも収録されているかもしれませんよ。」

## Lexis.comは法務部と知財部でご利用になっている企業が多いですが、ニーズの違いはございますか？または知財部が法務部と同じ情報が必要なのでしょうか？

「各社で状況は違うと思うので一概には言えないと思いますが……当社の場合基本的に特許に関することは知的財産権統括部の担当です。特許侵害訴訟では特殊な知識が必要ですので、当社では、知財と法務とで連携して業務を進めています。法務部の知財に限定されない広い法律知識と情報、知財部の知財/知財訴訟に特化した知識と情報の組合せが付加価値を生み出していると思います。情報交換は日々欠かしていません。」

## 最後に、レクシスネクシスについていくつか質問させてください。どのような経緯でレクシスネクシスを利用するようになったのですか？

「当社の母体となった会社に入社した時点で既に導入されていました。留学中もロースクールの授業で教授からの紹介もあり、現在も利用しています。当社は2003年に設立されましたが、知的財産権統括部 渉外部設立時からLexisを導入しています。」

今回お話を伺ったのは &gt;&gt;&gt;

# 【株式会社ルネサステクノロジ】

知的財産権統括部  
渉外部  
矢部 正樹 様

## 英語データベースに対する壁はありますか？

「知財部の者はほとんど抵抗無いと思います。海外業務の経験者もいますし。英語での情報収集ができると広いソースから即時に情報をとれるというメリットを感じています。」

## Lexis.comをお使いになっていて便利なところを教えてください。

「検索機能、広範なソースとその蓄積がある点が便利です。また、固定料金なので少し気になったことでもすぐ検索できるのは良いですね。固定料金制でないと、小さいことだと検索しないまま遣り過してしまう場合も出てくるのかな、と思います。」

## お気に入りのコンテンツは？

「多数あります。使用頻度が高いものとしては、各種Law Review、連邦の判例検索、CLE資料、Hoovers in depthなどですね。その他M&A情報も見たりします。」

インタビュー実施日：2008年2月13日